

# 目次

口絵	発行によせて(宜野湾市長)	発行のことは(宜野湾市教育委員会教育長)	発刊に際して(宜野湾市史編集委員会委員長)	目次	凡例	総説	年次解説	集録記事	付録・コラム集	集録記事	一九五九年(昭和三四)	金融実績ぐんぐんのびる	全琉一の武道場や図書館	死んだ坊やを密葬	アカデミー賞記念品	賠償金四万八千ドル	沖繩で初の最新映写機	PTAが学校づくり	米海軍が協力約束	宜野湾村の合同祝	米兵が強盗傷人	軍がオフリミットの理由を明示	東南アジアの霊石を集める	基地の街うすれる赤線の灯	強制的に新規接収	貧困者の更生資金	宜野湾村教育委員の年数	「普天間の松」を復元しよう	トッパン(伊佐浜)移民の生活	「暴走馬」を監視する	はやる外人用貸住宅一戸から数十戸まで	軍民工場使用水による意外に大きい被害	二十五万円の亀甲型	伊佐三叉路に自動信号機	「ユタ」の免状	皇太子さまあやか	売春防止は家主の協力	免許を取った康子さん	基地のなかの村おこし	喜びのバス開通	悪い遊びやめた野嵩の子	暗い新学期物置小屋ですし詰授業	普天間地区	宜野湾の水田にイモチ病発生	ボーリング場宜野湾におめみえ	お母さん方の贈物	軍残飯の払下げ	バリカン奉仕	喜友名区に慰霊塔	井戸からガソリンがわく	世の荒波と戦う母	水が欲しい普天間	棚上げ状態の上水道計画	各戸に警笛備え	少年野球を育てる	立入禁止のニュー普天間	杖持ちのちゅうらさ	製作進む観音像	ランプ生活に終止符	中原区の約八割が開放	立禁でガツクリ	米人貸し住宅	白人と黒人が大喧嘩																														
				一	三	三	三	三	七	三	三	三	三	三	三	四	四	五	五	六	六	六	七	七	七	八	八	九	九	一〇	一〇	一〇	一一	一一	一二	一二	一二	一三	一三	一三	一四	一四	一四	一五	一五	一五	一六	一六	一六	一七	一七	一七	一七	一八	一八	一九	一九	二〇	二〇	二〇	二一	二一	二二	二二	二三	二三	二四	二四	二五	二五	二五	二六	二六	二六	二七	二七	二七	二八	二八	二九	二九	三〇	三〇	三一	三一	三二	三二	三三	三三	三四	三四	三五	三五

稲刈たけなわ	返された軍用地	組織強化などを協議	四
軍用地の認定などで	「新土地計画」すすむ	宜野湾にまた難問題	四
普天間―渡口間のバス料金	電話増設に期待する	子供たちの安全を守るには	四
「安くして」の声高まる	集成刑法の撤廃要請	イモ畑荒れる米軍の演習で	四
宜野湾村議会も米軍に抗議	文化風呂流行	一字で13名の大学生	四
普天間中校を移転	普天間に交通信号機	伊佐浜の干拓を	四
不正は全然ない	小学生はねる	ニュー普天間オフィミッツ解禁	四
米軍の事故と賠償(4)	これではひどすぎるなっていない評価、	これが新生活の結婚式	四
普天間基地にヘリコプター中隊	人道的な立場訴える	排水溝がなく浸水	四
着々すすむ普天間の都計	沖繩一の学校図書館	暗いバーの照明	四
宜野湾村に建設課新設	映画館の騒音に悩む	米人が福祉事業に寄付	四
宜野湾教育予算きまる	「納得のいく補償を」	講和前補償の獲得に立ち上がる	四
宜野湾指導團の経営多和田真英さんに	天満中通り会誕生	悪質な兵隊の行為	四
甘藷指導團の経営多和田真英さんに	きのうから軍用地料支払い	「猪と思つて発砲した」	四
軍用地料きょうから支払い開始	宜野湾村にも職安を		
はげしい勧誘合戦	宮崎へ平和観音像		
宜野湾小学校の創立75周年式典	厳しくなる乗馬取締		
宜野湾村立禁に悲鳴	中原区の立退補償		
益行事は簡素に	本格化する中部の緑化運動		
九月から支部結成	宜野湾できょう結成式		
これは珍しい	平和慰霊像は嘉数区に		
「ぎのわん村報」再発行	三人組の覆面強盗		
木かげ	水稲二期作は90%		
良い子達が街を清掃	週末の普天間大荒れ		
		一九六〇年(昭和三五)	
		ヘリコプター民家近くに墜落	五
		7カ月ぶりに解禁	五
		山田画伯の語る慰霊像建立の構想	五
		待望のパン給食	五
		耕地を広げ帰農を促進	五
		建築ブームに乗り	五
		外商の進出で地価上がる	五
		八百五十人を吸収	五

合同祝いが13部落	祖国復帰提灯デモ	盛んなキビ作熱	六
きょう地鎮祭	宜野湾村に水道	アイゼンハワー大統領来島	六
普天間小学校実を結んだ安全教育	普及するサイレージ	完全失業者204名	六
中金へ12万ドル融資	町内での乗馬は禁止	九時あとの外出禁止	六
公民館活動で発展	無籍児童の対策	全琉で初の学校保険	六
観音像のヒタイの十字架	普天間にマリン兵舎	コザ職安普天間出張所発足	六
普天間宮の奥洞穴セメントで閉鎖	荒廃地の解消に	おかみさんにも人気	六
宜野湾村人口三万を突破	普天間中校移転	中学の独立設置進む	六
めずらしいオモロの実演	井戸にガソリン流入	宜野湾村農協畜産に力コブ	六
宜野湾村開放地に街づくりを計画	「家族会議を開いて」	上水施設20日に完成	六
活気づく部落づくり	試運転の結果は上々	一年半ぶりに解禁	六
宜野湾村に弁務官資金	奇特な米人夫妻	平和像建立に米軍が協力申し入れ	六
農耕者にパスを発行	宜野湾村が二連勝	経営の協同化を推進	六
家庭に学習を生かす	りっぱな体育館完成	こじれる次郎ベーカーリー争議	六
黙認耕作を継続	総合一位は長田部落	迷信打破とユタ追放	六
第1回の貸費生募集	メイス持込み反対	28学級が不正常授業	六
英語を教えるマリン兵	弁務官が公民館に激励の手紙	「名護育一号」がよい	六
普天間中心の商工都	盛んな地方の学級活動	外人向け精肉販売店	六
パン用のおかず普及へ	村あげて増税に反対	宜野湾村が飛行場内の墓地補償を陳情	六
普天間小校PTAが図書館建設	「親と子の共同学習」	新正月一本立を推進	六
姿消す「沖縄タイム」	会長さんに仲村さん	宜野湾の小中校にコンセット	六
新規接収に反対	行きすぎは慎しむ	村を挙げて結核追放	六
ゴー・ストップ・注意	「地主と対等の立場に」	宜野湾村が普天間開放地などへ給水開始	六
サイロで豚数ふやす	これからの一年間市町村の新年度予算案	軍用地料の支払い	六

早く市場を開設して	六〇
中部第二の都市へ	六〇
旧沖食跡近く開放	六〇
子牛を四百頭輸入	六二
戦後最高を記録	六二
使用できぬ井戸水	六二
新生活運動をはばむもの	六三
運動会の寄付廃止	六四
海外移住相談係の設置	六四
一雨ごとに浸水	六五
十五夜に村芝居	六五
葉煙草栽培に力こぶ	六五
利用者の少ない上水道	六六
農業の改革策打ち出す	六六
共同経営で荒地解消	六六
飼料のイモ作減り豚が減産	六七
悲鳴あげる郵便局	六七
3カ月で一年の目標突破	六八
宜野湾市農協の貯蓄	六八
立候補届出午前中にほぼ出そろう	六九
普天間権現発祥の地で例祭	六九
きれいになる普天間大通り	六九
北部、中部でも圧勝	七〇
ライフフル銃を押収	七〇

普天間に職安支所	七〇
生きた英語指導	七〇
あわてる米人向け貸し住宅業者	七〇
営業はじめる	七〇
銀バスにも流れ弾	七〇
流弾はオモチャ	七〇
四人の米少年逮捕	七〇
困窮者に無料サービス	七〇
一九六一年(昭和三六)	
米兵の車にはねらる	七二
日の丸掲揚は不許可	七二
不法建築物を撤去	七二
追加予算など可決	七二
ポリビア移住第二次合格者	七二
小学生が短銃もつ	七二
12人が死亡	七二
全琉の総人口八八一、九六七人	七二
普天間このごろ	七三
大山このごろ	七三
千九百万ドルの地料	七三
ウガンバレー	七四
村内の祝儀50セントに統一	七四

旧正景気の中部商店街	七四
普天間開放地に琉映館落成	七五
キャ弁務官・おごそかに就任式	七五
MP隊の取り調べが遅い	七五
普天間署が善処訴える	七五
軍用地料の支払い	七六
軍用地料支払い	七六
風管法改正に反対普天間二級バーが	七六
沖繩にメイスB基地	七六
表彰される七人のよい子	七七
沖繩ヤクルトの落成式	七七
沖繩人権協会が誕生	七七
白人系が多い	七八
好調…軍向け野菜	七八
表彰に輝く図書館	七八
公民館めぐり宜野湾村普天間区	七九
給食にオカズを	七九
連合区統合を確認	八〇
公民館めぐり宜野湾村普天間二区	八〇
公民館めぐり宜野湾村大謝名	八〇
宜野湾村が一位	八〇
共進会産業功労者も表彰	八〇
嘉数中学校地鎮祭	八〇
ふえた婦女暴行	八〇

共進会宜野湾村赤道区	二二四
宜野湾村大山部落の生活改善	二二四
風俗営業違反ふえる	二二六
水道の一期事業終わる	二二六
労組結成	二二七
水道落成祝賀会	二二七
比島紙幣にご注意	二二七
水道の落成祝い	二二七
四年前からムン歯追放運動	二二六
十六年目に収骨	二二六
おどり出た全沖労連と全軍労連	二二六
もめる水源問題	二二六
畜産組合を結成	二二六
普天間新開通りにスズラン灯	二二六
六十万ドルを軽く突破	二二六
村社協も千ドル計上	二二六
村内電話の一局統合	二二六
広告	二二六
責任ある活動を養う	二二六
普天間の排水一部完成	二二六
恒例の相撲大会にぎわう	二二六
キビ作付も二倍に	二二六
普天間高校敗れる	二二六
旧盆にしし舞い	二二六

結核を追放しよう	二二四
災害救助隊を結成	二二五
助け合い金庫の資金二倍に	二二五
健康な遊びを奨励	二二六
村役所にタイム・レコーダー	二二六
危ない米兵の乗馬	二二六
憲兵隊から感謝状	二二七
宜野湾村役所にコピスター	二二七
申し込み計画の二倍	二二七
としよりの日の話題	二二七
地籍図根を測量	二二六
兵隊や従業員が供血	二二六
台風大あばれ通信網スタスタ	二二六
警本がまとめた交通事故統計	二二六
商工祭幕あける	二二六
スリルとスピードー普天間商工祭	二二六
無事故競技会入賞校決る	二二六
宜野湾村の台風被災者に救授物資	二二六
“こんな”に歩けます	二二六
食堂のソバ値上がり	二二六
貸し住宅から汚水	二二六
拳銃弾とびこむ	二二六
“奨学金”手に喜び合う	二二六
消火器を贈る	二二六

軍雇用員の運動会	二二四
村議会が抗議決議	二二四
“教材用の備品づくり”	二二四
ついに仮処分執行	二二四
ヘリコプターも出動	二二四
ことし最後の南米移民	二二六
区長さんの本格選挙	二二七
“短銃の弾”と軍が確認	二二七
白人兵三人になぐられる	二二七
信号灯を設置	二二七
キビ搬入二十万ドル	二二七
排水、道路工事に着手	二二七
都計区域の設定承認	二二七
一九六二年(昭和三七)	
キューワリのビニール栽培	二二五
貸住宅の汚水に悩む	二二五
普天間に公設市場	二二五
宜野湾村ト殺場落札	二二五
村内の77%に給水	二二五
死傷者184人	二二五
宜野湾村が観光受け入れ態勢	二二五
軍事基地を必要とする限り	二二五
沖繩、引き続き管理	二二五

普天間市、など十六の市名が集まる	一五
絶対保証は困難	一五
軍雇用員賃金九一・三%増す	一五
すみやかに施政権返還を	一五
着物で登校	一五
犯罪宜野湾に多い	一五
布令一四五号廃止	一五
軍施設破壊窃盗に懲役十年	一六
米兵二人組の強盗	一六
普天間マリン航空隊を黙認耕作地に	一六
宜野湾村内角力大会	一六
黙認耕作をとりやめ	一六
昨夜、沖繩解放県民大会	一六
「ただちに祖国へ返せ」	一六
各農家に果樹奨励	一六
事故から子らを守る	一六
干拓事業推進を陳情	一六
仲村宜野湾村長ハワイへ	一六
公設市場四月に完工	一六
ひろがるオフ・リミッツ	一六
米、けさ沖繩新政策を発表	一六
合併の態度アイマイ	一六
学事奨励会開く	一六
市昇格を提案	一六

大山部落で総合慰安祭	一六
きょう開校式	一六
「宜野湾市」に決定	一六
外人住宅で盗難しきり	一六
講和前地料支払う	一六
決意新たに昨夜復帰大会	一六
用心棒に雇わんか	一七
沖繩は極東唯一の核武装基地	一七
ニュースストリー	一七
軍用地料八千ドル支払う	一七
肥育牛の事業化めざす	一七
宜野湾ライオンズクラブ結成	一七
船舶の「日の丸掲揚」認めよ	一七
宜野湾講和前地料支払い	一七
都市の形態は十分	一七
思わず歓声	一七
長期計画は日米統一で	一七
調査団、各界と懇談	一七
米兵の野放し乗馬に非難	一七
財政規模四億八千万ドル	一七
小平調査団にのぞむ(社説)	一七
宜野湾村養鶏組合を結成	一七
きょう再び全体会議	一七
盛り上がる施政権返還	一七

一軒二百ドル以上の投資	一八
日米全体会議終わる	一八
沖繩一をかけた激戦	一八
宜野湾市うまれる	一八
貯蓄増強連続トップ	一八
ビルなど毎月30むね建つ	一八
消防態勢を強化	一八
街づくりにも励む宜野湾市	一八
はなやかに祝賀行事	一八
車をつらねて	一八
一万人が参加	一八
かりゆし民謡祭にぎわう	一八
景気よくふっ飛ばす	一八
四市村、きょう選挙告示	一八
コザ、宜野湾、中城、北中城	一八
闘牛大会にぎわう	一八
50万ドルの発電所ビル	一八
望楼のない消防隊	一八
嘉数中校が誕生	一八
中部にオフ・リミッツ旋風	一八
嘉数中校に野球用のバックネット	一八
理由は売春婦の放任	一八
パトロールで街娼追放	一八
米軍からトラクター	一八

買出し先など消毒	一七
当選の喜びを語る大山、仲村両氏	一七
坊やはねられる	一七
大謝名電局が開局	一七
コザ、宜野湾市議当選者	一七
利用されたAサイン	一七
米兵がなぐるける	一七
二か年連続全統一	一七
「公約の実現を推進」	一七
「清掃運動」どこ吹く風	一七
100万ドルの総合開発	一七
きょう全琉Aサイン業者大会	一七
お客待ちで開店休業	一七
また発煙筒投げ込む	一七
運行中のバスに投石	一七
桃原氏、社大を脱党	一七
大田体制の打倒へ	一七
焼夷弾が自然発火	一七
田畑五万平方メートル焼く	一七
協業化で養豚にテコ入れ	一七
懲罰委を軍民同数に	一七
一せいに開店準備	一七
区画整理のメドつく	一七

総選挙の明暗	一八
政界の新分野決まる	一八
平和慰霊像原型完成	一八
米兵同士が大乱闘	一八
宜野湾のビル・ラッシュ	一八
50キロ砲弾で	一八
暴力団、普天間で対立	一八
米兵通行人に乱暴	一八
最低時給十六セントへ	一八
三人が立候補	一八
軍用地内に豊富な水源	一八
米兵が洋酒盗み乱暴	一八
自動車売るとだます	一八

消防庁舎建築に協力	一九
民謡でふるさとのお	一九
中校生ひかれ死ぬ	一九
教育委当選者	一九
自治は「神話」である	一九
弁務官、金門クラブで演説	一九
島ぐるみで阻止へ	一九
七千人が大会参加	一九
衛生部落に黄色ごみカン	一九
オフ・リミッツ再び警告	一九
弁務官府、宜野湾市に強い態度	一九
小校生二人ケガ	一九
27度線上で堅い握手	一九
商社荒らし二万ドルの窃盗団	一九
中校生輪死に無罪	一九
パイロット地区に	一九
宜野湾市志真志を指定	一九
アメックス労組結成	一九
中部に「水商売」大繁盛	一九
パラシュート開かず墜落	一九
アメックス労組役員さま	一九
水ききん、知らないね	一九
望楼の高さは十六メートル	一九
沖繩戦跡記念塔	一九

軍用地料の支払い額……………三九

新バス運賃表……………三九

「ラブ軍曹ありがとう」……………三九

文字通りの肉弾戦宜野湾の戦跡……………三九

新基準はかなり緩和Aサイン……………三九

給水機動隊が活躍……………三九

あすから軍も断水……………三九

PTAが兵士に感謝……………三九

「明るい町をつくらう」……………三九

宜野湾市が機構改革……………三九

軍雇用員にボーナス……………三九

宜野湾農協がキビ祭り……………三九

大山から歯の化石……………三九

二千ドルの貴金属……………三九

大山の宝石店から盗まる……………三九

宜野湾から取水考慮那覇市議会……………三九

労組幹部、普天間署長らを告訴……………三九

六十万ドルの基地工事……………三九

舗装道路近く完成……………三九

労働争議へ警官出動相次ぐ……………三九

「みどり丸」チービシ沖で沈没……………三九

一位に宜野湾農協……………三九

五号線には閑古鳥……………三九

キメ手つかめず民警に協力……………三九

祝普天間市場通り商店街開店(広告)……………三九

漁獲の向上めざし……………三九

小学校校庭から爆弾……………三九

一時間に二〇〇〇〜二五〇〇台……………三九

部落に花がいつぱい……………三九

成果あげる公民館活動……………三九

建設課、助役室が移転……………三九

外人住宅の水道、市に移管される……………三九

宜野湾で原野焼く……………三九

米軍がべたべたはる……………三九

多い火災、悩みの消火装備……………三九

普天間高三位に入賞……………三九

総額三、九〇〇万ドルに……………三九

喜屋武さん(普天間高校)ら受賞……………三九

へびの新種、珍種……………三九

青少年非行ふえる……………三九

発煙筒を投げ込む……………三九

沖繩一のみ卵場……………三九

乗馬、子供をける……………三九

身寄りのない老夫婦見守る……………三九

干ばつも苦にならない……………三九

小型車駆つて活躍……………三九

一九六四年(昭和三九)

「新しい農業」めざす……………三五

孫、曾孫が百余人も……………三五

85歳の天久流水翁……………三五

最高千四百ドル……………三五

普天間ずらん通りを舗装……………三五

新型のジェット機……………三五

総額で五百万ドル近く……………三五

六四年度の軍用地使用料……………三五

沖繩に四九五万ドル……………三五

軍工事で許可できず……………三五

ひらきななる大山居民……………三五

中部に貸し住宅ブーム……………三五

新行政区発足……………三五

「清潔な私たちの部落」……………三五

ワナー民政官着任……………三五

コリンズ大将来沖……………三五

企業化する養豚……………三五

千頭以上も飼育……………三五

計画農業で倍の収穫……………三五

はと笛……………三五

育英会に資金贈る……………三五

宜野湾郵便局に賊……………三五

「京都の碑」の起工式……………三六

新しい店がぞくぞく……………三六

搭乗員は無事……………三六

普天間新市街客足がさつぱり……………三六

熱心な人づくり運動宜野湾市大山区……………三六

トン当たり四ドル二十セントも下落……………三六

わかば幼稚園開園……………三六

市役所にも記者クラブ設置……………三六

一つの墓に十数個……………三六

バスに空気銃発砲……………三六

デイゴを観光名物に……………三六

民間模合に赤信号……………三六

資金ぐりに苦しむ普天間の業者……………三六

普天満宮拝殿の改築始まる……………三六

激戦地に再び緑……………三六

環境整備に成果……………三六

まだある不発弾……………三六

早期解禁を要望……………三六

体験通し意見発表……………三六

琉球モーターズがロックアウト……………三六

浦添、北中城は一律五ドルアップ……………三六

家畜購入資金を利用……………三六

婦人グループ共同養鶏に成功……………三六

大田主席、ついに辞表提出……………三六

党の分裂に責任……………三七

主席の公選要請を決議……………三七

農業合理化にSOS……………三七

主席公選県民大会開く……………三七

きょう健康都市を宣言……………三七

食堂に爆竹投げる……………三七

宜野湾市真栄原区闘牛組合を結成……………三七

普天間中でも校内募金……………三七

誘致、再び要請決議……………三七

米兵運転手を殴る……………三七

幼女はねられ重体……………三七

高い中部の物価悲鳴あげる主婦たち……………三七

二つの使命を認識……………三七

ほくほくの軍用地主……………三七

「水にウレイあり」……………三七

米兵をコン棒で殺す……………三七

米兵殺し犯行自供……………三七

甘藷が全滅状態……………三七

都計区域を決定……………三七

宜野湾市我如古に決定……………三七

短銃、大山小学校で発見……………三七

一号線のバイパス道路実現へ……………三七

二万四千の新組織県労協けき結成大会……………三七

洞窟から古銭……………三七

復帰実現など要望……………三六

農家の財布もしまる……………三六

初の中部地区陸上……………三六

中部商高着工……………三六

自由・自民が指名強行……………三六

三被告に懲役三年……………三六

宜野湾・コザ・平良・石垣を……………三六

準会員に九州市長会……………三六

キビ一辺倒の変更、農業金融の円滑化を……………三六

京都の塔慰霊祭……………三六

嘉数高台に展望台……………三六

政府埋め立て可決……………三六

簡易水道に汚物……………三六

老女はねられ死ぬ……………三六

宜野湾市の都計いよいよ着手へ……………三六

年間九百頭の豚豚……………三六

交通安全之塔起工式……………三六

弁務官に善処要請……………三六

「省力農業」の新兵器……………三六

めずらしい「好塩菌」……………三六

雨の日も風の日も幼児を事故から守る……………三六

宜野湾市大山の宮城さん……………三六

一九六五年(昭和四〇)

- 米兵「日の丸」を盗む……………三九
- 模合苦しまぎれに再開……………三九
- 町村合併を再勧告……………三九
- 終戦つ子はたちに……………三〇〇
- 競売に出た「天満ビル」……………三〇〇
- 養豚業の安定へ……………三〇一
- 他村に不法ゴミ捨て……………三〇三
- 米、北ベトナムを攻撃……………三〇三
- 米、ブレイク事件を重視……………三〇三
- 村八分取りあげる……………三〇三
- 身障者はねられ重体……………三〇四
- 包丁つきつける米兵……………三〇四
- 宜野湾市の市場通り商店街……………三〇四
- あてはずれ客足サッパリ……………三〇四
- 本土なみの賃金を……………三〇五
- 普天間本町通りきょう10周年記念祭……………三〇六
- 両中城村との合併可決……………三〇六
- 農家の預金激増……………三〇六
- ゴミ処理場がない宜野湾……………三〇七
- 中部商高二重の喜び……………三〇八
- 米軍のベトナム介入やめよ……………三〇八
- 奥里氏の蔵書を寄贈……………三〇八

- 元気に普天間入り……………三〇九
- 近く合併促進協賛発足……………三〇九
- 合併促進協賛が発足……………三〇九
- 「明るい町づくりを」……………三〇九
- 各部隊に警告を出す……………三〇九
- 大都市建設をめざす……………三〇九
- 元収入役が横領?……………三〇九
- 抜き打ち解雇……………三〇九
- 宜野湾市長が辞職……………三〇九
- 空から車、少女死ぬ……………三〇九
- 「役に立つ人間に」……………三〇九
- 貨物をつるした軍のへり……………三〇九
- 民家の上空を飛ぶ……………三〇九
- 二十日に除幕式……………三〇九
- 散髪料値上げ……………三〇九
- 20年ぶりに復活……………三〇九
- 反収一・二%ふえる……………三〇九
- 貸し付け金大幅増額、中部地区農協……………三〇九
- 軍が大量求人……………三〇九
- 島袋氏が無投票当選か……………三〇九
- 宜野湾市長に就任した島袋全一……………三〇九
- 水をめぐって対立……………三〇九
- 佐藤首相、けさ着く……………三〇九
- 大荒れの復帰要求県民大会……………三〇九

- 姉妹農協初の縁結び……………三〇九
- 宜野湾市・東京都練馬区……………三〇九
- 知念会頭を再選……………三〇九
- 不安におののく住民……………三〇九
- 助役に松川正義氏……………三〇九
- 早期実現は不可能……………三〇九
- 米兵が強盗傷人……………三〇九
- 田イモづくりに成功……………三〇九
- 予算16万ドルふえる……………三〇九
- 水源地めぐり対立那覇→宜野湾……………三〇九
- 沖繩に本土の花を……………三〇九
- 主席公選の実現へ……………三〇九
- きょうから野ネズミ退治……………三〇九
- 私の信念・私の政策……………三〇九
- 行政府またも敗訴……………三〇九
- あぶない夜の嘉数……………三〇九
- 新分野決まる……………三〇九
- 各地区別開票結果……………三〇九
- 特殊学級に愛の定期便……………三〇九
- 不信任の動きも……………三〇九
- 短銃もつ米兵タクシ強盗……………三〇九
- 宜野湾で三千本植樹……………三〇九
- 市民運動会にぎわう……………三〇九
- 総人口93万3千人……………三〇九

一九六六年(昭和四一)

- あすから開始……………三三三
- 運転手20人解雇……………三三三
- 「へりの調子が悪かった」……………三三三
- 県民大会開く……………三三三
- 都市計画を推進……………三三三
- ひと足先にクリスマス……………三三三
- 主席公選を決議……………三三三
- 水芋の収穫大わらわ……………三三九
- 貸し住宅建設ブーム……………三三九
- 水源地で本格折衝へ宜野湾→那覇……………三三九
- 宜野湾ブロック合併展望……………三三九
- 市内ぜんぶ舗装……………三三九
- 課税阻止を要請……………三三九
- 水源地周辺を調査……………三三九
- 滞納が四万五千ドル……………三三九
- バスの中で米人少年が乱暴……………三三九
- じかに市民の声きく……………三三九
- まだある仮校舎……………三三九
- 一人死亡、二人は重傷……………三三九
- 野菜栽培奨励に本腰……………三三九
- 宜野湾の火災大幅にふえる……………三三九
- 像のみ前で清らかに……………三三九

- 沖繩も宇宙時代へ……………三三九
- 電線ドロ捕る……………三三九
- 「土地とられるのはいや」……………三三九
- 賞金付きで盗難防止……………三三九
- 立派な図書館が完成……………三三九
- 困窮家庭に米贈る……………三三九
- 69年に高圧線撤去……………三三九
- 五年計画で完全追放……………三三九
- 都市づくり急ピッチ……………三三九
- 公設市場の拡大を計画……………三三九
- 早急に史跡指定を……………三三九
- 宜野湾に事務所建設を計画……………三三九
- 平均給与男82ドル61セント……………三三九
- 女43ドル36セント……………三三九
- 香港やハワイへ……………三三九
- みんなの手で町をきれいに……………三三九
- 蔬菜や花キ類を栽培……………三三九
- 市内をみどりに……………三三九
- 全琉人口九十三万人……………三三九
- 宜野湾の保育所落成……………三三九
- 都計事業に多い要望……………三三九
- 市役所の機構を改革……………三三九
- 軍給油機が墜落……………三三九
- 外人住宅荒らしふえる……………三三九

- 平和慰霊像アトリエが完成……………三三九
- スシ詰め教室を視察……………三三九
- 中部商業正常に……………三三九
- 板ばさみに泣く区教委……………三三九
- 宜野湾で幼児に脳炎……………三三九
- 年間二万三千ドル払え……………三三九
- 給与引き上げムード……………三三九
- 乗馬の禁止を要望……………三三九
- 米民政府裁判へ……………三三九
- 街灯で夜も美しく……………三三九
- 宜野湾野菜集荷場市当局を追及……………三三九
- 新規接収許さず……………三三九
- ワ弁務官、移送命令撤回を拒否……………三三九
- 排水工事で浸水防止……………三三九
- 一年生が授業サボ……………三三九
- スローモー都計に不満の声……………三三九
- 暴力追放都市宣言を決議……………三三九
- 水もれで損失四千ドル……………三三九
- 経営難の市営保育所……………三三九
- 米琉親善のタテ贈る……………三三九
- 商工観光課を新設……………三三九
- 夜間パトロール実施……………三三九
- 都計を大幅に修正……………三三九
- 水イモ病害虫発生……………三三九

- 借地人側と市当局が検討 ..... 三六六
- 大山の綱引きにぎわう ..... 三六六
- 電話申し込みが殺到 ..... 三六九
- 宜野湾市第二庁舎が完成 ..... 三六九
- 中小企業の育成へ ..... 三六九
- 進展しない三市村合併 ..... 三七〇
- 来年ははじめごろ着工 ..... 三七〇
- また米婦人を暴行 ..... 三七一
- 候補者ほとんど出そろう ..... 三七一
- 普天間第二小校の新設へ、  
近く政府へ認可申請 ..... 三七一
- 宜野湾農協、貯金高は沖繩一  
最優秀賞を獲得三年連続 ..... 三七二
- チリ捨て場設置 ..... 三七二
- 給水工事始まる ..... 三七三
- 新正副議長さまる ..... 三七三
- 暴力団アジトに手投げ弾、  
普天間商店街で爆発 ..... 三七三
- 食費を値上げ ..... 三七四
- こんなはずではなかった ..... 三七四
- 乗馬心得の徹底を ..... 三七五
- 暴力団を締めだせ ..... 三七五
- 新高等弁務官けさ就任式 ..... 三七六
- 宜野湾が巡回文庫 ..... 三七七

- 保育所設置で起債 ..... 三七六
- 那覇市が回答書出す ..... 三七六
- 市営住宅をつくる ..... 三七九
- 平和慰霊像を視察 ..... 三七九
- 「羽衣伝説の泉」 ..... 三七九
- 10年目迎えた平和慰霊像、  
新聞発行を計画 ..... 三八〇
- 野菜の自給へ ..... 三八〇
- 二万四千ドルで折衝 ..... 三八〇
- 入園者ふえうれしい悲鳴 ..... 三八一
- 市立保育所を新築 ..... 三八一
- 縫い賃値上げ ..... 三八一
- 暴力団抗争に米兵からむ ..... 三八一
- 健康な市民つくりへ ..... 三八二
- 企業誘致に積極的 ..... 三八三
- 布令審査権を認めるけさ移送裁判決 ..... 三八三
- 暴力団抗争、少年犯罪などに備え、  
機動隊員を常駐 ..... 三八五
- 各区に老人クラブ結成 ..... 三八五
- 水道工事の起債を可決 ..... 三八五
- 大規模な干拓を計画 ..... 三八五
- 水いも収穫大わらわ ..... 三八六
- こんどは、時を守る都市へ ..... 三八六
- 宜野湾市が宣言 ..... 三八六

- 一九六七年(昭和四二)
- 米憲兵、短銃で沖繩人撃つ ..... 三九一
- 共同作業で自衛策 ..... 三九二
- 宜野湾市内に巡回文庫 ..... 三九二
- 政府、逃走児対策に本腰 ..... 三九三
- 七月合併をメド ..... 三九三
- 守られる「定刻」 ..... 三九四
- 宜野湾市の困窮世帯に旧正プレゼント ..... 三九四
- 49万平方メートル埋める ..... 三九四
- 公共事業にブレーキ ..... 三九四
- 新規接収申し入れ ..... 三九五
- 不要の「ごう」閉めよ ..... 三九五
- 宜野湾都計64年案を大幅に修正 ..... 三九六
- 18万坪を埋め立て ..... 三九六
- 教公二法荒れ狂う立法院 ..... 三九七
- 合宿訓練を終える ..... 三九七
- 環境浄化目ざす ..... 三九八
- 米琉親善で造形花園を設置 ..... 三九八
- プロパン販売合戦 ..... 三九九
- 暴力団抗争に悲鳴 ..... 四〇〇
- 当選者決まる ..... 四〇一
- 米兵がピストル強盗 ..... 四〇一
- 宜野湾市伊佐の埋め立て工事始まる ..... 四〇一

- 財政委も究明へ ..... 四〇二
- 二代目づくりに懸念、我如古平松 ..... 四〇二
- 一六〇〇ドルの育英資金 ..... 四〇三
- ローカルパトロール宜野湾市 ..... 四〇三
- 街頭パレード華やか ..... 四〇四
- 大行進普天間入り ..... 四〇四
- 区民の奉仕で完成 ..... 四〇五
- 道路に10センチの穴 ..... 四〇五
- 二重帳簿みつける ..... 四〇五
- 政府移転宜野湾に限定せず ..... 四〇六
- 各課の連けいを強化 ..... 四〇六
- 「暴力団解散は賛成」 ..... 四〇六
- 「暴力団を解散に追い込もう」 ..... 四〇七
- 爆音禍宜野湾市にも飛び火 ..... 四〇七
- 連合会を結成 ..... 四〇八
- 少年発砲事件短銃簡単に入手 ..... 四〇八
- 無免許のし尿処理業者が横行 ..... 四〇九
- ひろがる水道汚職 ..... 四〇九
- 「暴力団追放は、一一〇番へ」 ..... 四〇九
- 機構改革の実施へ ..... 四一〇
- 不安定な養豚業 ..... 四一〇
- 容疑者、本土へ高飛び ..... 四一一
- 危険な場所を調査 ..... 四一一
- 役所、チリ取り車を購入 ..... 四一一

- きのう落成式 ..... 四二三
- 「嘉数高台空疎れて」 ..... 四二三
- 市章・市歌の当選者決定(公告) ..... 四二三
- 帳簿類など押収 ..... 四二三
- 埋め立て工事11月に着工 ..... 四二四
- 「沖繩原人」と断定 ..... 四二四
- 普天間派から依頼され、  
比島から25ドルで ..... 四二六
- 胸を撃たれ重傷暴力団また発砲事件 ..... 四二六
- 健康都市はチリの山 ..... 四二七
- 効果をあげる自治会活動 ..... 四二七
- 通行人にいやがらせ ..... 四二八
- 羽衣の「森の川」復元 ..... 四二八
- 憲兵二人を表彰 ..... 四二八
- 交通裁判所あす店開き ..... 四二九
- ひと足早い「祖国復帰」 ..... 四二九
- 電子計算機の第一号 ..... 四三〇
- 「不健康都市」を返上 ..... 四三〇
- 「放牧」で養豚実績上げる ..... 四三〇
- 80歳以上の老人に敬老年金 ..... 四三二
- 埋め立て事業軌道に乗る ..... 四三二
- 市政公聴会の実施 ..... 四三三
- 水道ピンチ・空から「節水」を呼びかけ ..... 四三三
- 「新市建設計画」打ち出す ..... 四三三

- 〇〇大幹部(普天間派)射殺される ..... 四三四
- 全琉32地区で調査 ..... 四三四
- 力強く前進 ..... 四三四
- 「即時無条件返還」を決議 ..... 四三四
- 社会に迷惑をかけぬ ..... 四三六
- 沖繩の返還で台意 ..... 四三六
- 教公二法の廃案決定、民主党総務部 ..... 四三六
- 「暴力団追放」を宣言 ..... 四三六
- 短銃売り歩く米兵捕まる ..... 四三六
- 共になんばろう ..... 四三六
- 防犯支部結成へ ..... 四三六
- 資金のメドつかず ..... 四三六
- 心臓病の治療費に ..... 四三六
- 国吉元水道課長ら五人 ..... 四三六
- ユースカー(米国民政府)が移転 ..... 四三六
- サンマ裁判琉球政府が勝訴 ..... 四三六
- 普天間マリン隊が ..... 四三六
- クリスマス・プレゼント ..... 四三六
- 宜野湾ライオンズ・クラブから ..... 四三六
- 貧困世帯へ贈り物 ..... 四三六
- 一九六八年(昭和四三)
- 田畑に大きな被害 ..... 四三七
- 補償問題など協議 ..... 四三七

米軍へ抗議決議宜野湾市議会	四八六	宜野湾市定例議会	四八六	普天間、本町通り入口の	四九二
自民党、宜野湾支部を結成	四八九	「農協長時代に責任」	四九〇	自動信号機が点灯	四九〇
ガソリン流出まじ農作物被害調査	四八九	刺された宜野湾市議死ぬ	四九〇	PXは混乱かきょう米軍将兵は給料日	四九〇
耐久度こえたパイプ	四九〇	公衆電話ボックスを設置	四九〇	伊佐・大山の埋め立て工事	四九〇
主席に善処を要請	四九〇	瑞慶覧さんの死をムダにするな	四九〇	平常どおり営業	四九一
一日も早く政府道の舗装を	四九〇	新城の区画整理事業はぼぼ終わる	四九一	全軍労スト未明から座り込み	四九三
お祝儀は一ドルに	四九〇	130人が入園	四九一	米軍の弾圧はね返そう	四九三
普天間中央通りに街灯	四九一	登校わずか一七パーセント	四九一	これで水不足緩和	四九三
損害賠償金支払う	四九一	危険な本町入り口	四九一	普天間飛行場を拡張	四九四
11月に主席公選実施	四九一	「米4軍」もたじたじ	四九二	普天間局スタート	四九四
今月末から給水	四九三	MPと小ぜり合い	四九二	井戸水使えない	四九五
区画整理事業を審議	四九三	多い卸し小売り業	四九二	再編迫られる中部圏	四九五
酒気運転でひき逃げ	四九三	宜野湾の食堂値上げ	四九二	外人住宅街から汚水流れる	四九六
地方は選挙の話でもちきり	四九四	「一貫性のない施策」	四九二	早くも苦情殺到	四九六
合同ゴミ処理プレス	四九四	少女に売春強要	四九二	宜野湾市婦人会の正副会長不信任騒動	四九六
心臓病の少年に一、五〇〇ドル	四九四	埋め立て事業スタート	四九二	普天間第二小認可	四九六
少女に接客を強要	四九五	交通モニター登場	四九二	真栄原郵便局が業務を開始	四九七
コルト45口径を売り歩く	四九五	普天間署が29人を委嘱	四九二	内紛によりやくケリ	四九七
真栄原に信号機を	四九六	中部地区市村合併の問題点探る	四九二	自力で公民館建設へ	四九七
都計本格スタート	四九六	平均十八ドルで妥結	四九二	今度は郵便運配	四九七
「合併」お流れか	四九六	予算の縮小響く	四九二	あぶない街路の乗馬	四九七
市長遅刻で一波乱	四九七	はと笛	四九二	暮らしの経済、消費者の知恵	四九七
視聴覚教育普天間小学校	四九七	凶悪事件相次ぐ	四九二	中部商高の調査から	四九七
「個人事業税」引き上げて追及	四九七	来月から入居	四九二	公民館が完成	四九七

〇に懲役15年	四九四	一九六九年(昭和四四)	四九四	きょうから土地家屋の状況を調査	四九四
区画整理埋め立て事業	四九四	レジャーセンターを計画	四九四	問題残す浦添・宜野湾議員選挙	四九五
「でんわ」すぐ「でます」	四九五	「実のある健康都市に」	四九四	苦しい資金ぐり	四九六
收拾メド立たず野党、市側が平行線	四九五	下旬に入居開始	四九四	婦人らがとばく	四九六
都計事業は灯礁に	四九五	酔って棒切れや石持ち米兵が大暴れ	四九四	四月中に独自の青写真	四九六
嘉数中に体育館を建設	四七五	ゼネスト参加を決議	四九四	宜野湾、北中城、中城	四九六
普及率は75・4%	四七五	那覇空港27日から一時閉鎖	四九四	三市村合併へスタート	四九七
不評買うデコボコ道	四七五	ゼネストを成功させよう	四九五	下水道整備へ	四九八
商工業者を実態調査	四七七	「暴力団の再興を許すな」	四九五	総合庁舎や港湾など	四九八
三大選で中立守る	四七七	市長にゼネスト反対要請書を手渡す	四九七	完全給食目ざす	四九八
警察に押しかけ騒ぐ	四七七	不発に終わったゼネスト	四九七	候補者の人選進む	四九八
〇〇に無期懲役	四七八	職場・警察連絡協議会を結成へ	四九六	もつと検討要する	四九八
初の公選主席に屋良朝笛氏(革新)	四七九	宜野湾に下水道完備	四九六	第二小建築中止問題で大荒れ	四九八
当選者の顔ぶれ	四八四	五月以降耕作するな	四九六	宜野湾市議会	四九八
又吉氏の無投票か	四八四	宜野湾市の黙認耕作地	四九六	初の本土送り出し	四九〇
B52、嘉手納基地内に墜落	四八四	著作権侵害で告訴	四九六	小学生がヒフ炎症	四九〇
五万ドルかせぐ	四八七	伊佐浜造成地を分譲	四九六	ようやく建築許可	四九一
B・52の撤去	四八八	もつと安い飲み水を	四九六	ミカンコミバエが異常発生	四九一
罰金刑が確定	四八八	一部除き農耕認める	四九六	マイクの奪い合い	四九二
軽飛行機のプレゼント	四八八	保育単価引き上げを	四九六	12日に新市名検討	四九二
人口4万人を越す	四八九	米軍の異議申し立て、全軍労が抗議声明	四九六	「豚価安定」で組合結成	四九三
大山、野嵩保育所にサンタ	四八九	「職員のス」を主張	四九六	宜野湾市長選統一候補に崎間氏	四九三
諸行事の合理化きめる	四八九	発展する宜野湾市	四九六	大山海岸は不適	四九三
				宜野湾市長	四九三



飛行機の爆音で軍に善処要望	五二四
大山海岸は禁止	五二四
崎間氏の無投票当選決まる	五二四
宜野湾市長選挙	五二四
人	五二五
政権交代で不安感	五二六
給水量の27%が漏水	五二六
ホステス重傷負う	五二七
普天間に出張所開設	五二七
崎間新市長が就任宜野湾市	五二八
ようこそ空の使節団	五二八
「教え子たちがやって来た」	五二八
生活・権利を守ろう	五二九
きょうから完全給食	五二九
し尿汲取りもぐりが横行	五三〇
外人住宅から民間に汚水	五三〇
市内全域に給水	五三〇
首相訪米に反対せぬ	五三三
過密都市の緩和へ	五三三
あれっ？ロッキードが	五三三
損害大きかった停電騒ぎ	五三三
佐藤訪米をテーマに	五三四
コザ、北谷、宜野湾が共同で	五三四
焼却炉建設を具体化	五三四
13日に24時間スト	五三九
宜野湾市労佐藤訪米を阻止	五三九
市側、非を認める	五三九
首相訪米の意図に反対	五三九
「ストは不満の現われ」	五三九
メード解雇撤回はしない	五三九
72年度返還で合意	五三九
71年7月合併を確認	五三九
航空部隊の	五三九
クリスマスをついとりやめ	五三九
米人が機関銃強盗、宜野湾市の質屋に	五三九
姉妹、はねられ重傷	五三九
さらに二人を逮捕	五三九
呉屋収入役を承認	五三九
伊佐区で集団赤痢	五三九
一九七〇年(昭和四五)	五三七
ホラ穴で迷う	五三七
有刺鉄線でバリケード	五三七
一斉に前面ストに突入	五三八
姿みせぬ武装兵	五三八
はねられて死ぬ	五三八
基地態様も協議か	五三九
酷使に耐えかね	五三九
「思わぬ伏兵」に苦惱	五四〇
抗議声明(意見広告)	五四〇
全軍労決起大会宣言・決議	五四〇
即時解雇一人、六人に停職処分	五四〇
喜友名にゴミ処理場	五四〇
収穫30%に減	五四〇
完成近い区画整理	五四〇
復帰準備委が発足	五四〇
助手席の幼女重傷	五四〇
宜野湾で外人二人組強盗	五四〇
外人、沖繩青年になぐられ	五四〇
五ドル奪われる	五四〇
一帯の開放を要求	五四〇
海軍普天間通信隊閉鎖で	五四〇
軍用地の早期開放期す	五四〇
軍倉庫荒らしグループつかまる	五四〇
電話線ドロ逮捕	五四〇
遅れる合併作業	五四〇
宜野湾で建築ブーム	五四〇
ふらちな米憲兵隊員	五四〇
酒気・無灯火でスピード運転	五四〇
合併日程を大幅に変更	五四〇
宜野湾市・中城村・北中城村	五四〇
「宜野湾市」補助がなくてお手上げ	五四〇
普天間が初優勝飾る	五七三
48時間ストに突入	五七三
けさコザ市で暴動	五七三
自治会長を投票で選ぶ	五七三
養護事業スタート	五七三
一九七一年(昭和四六)	五七三
外人が短銃強盗	五七三
厳戒下、毒ガス移送始まる	五七三
ふとどき！MPが酔っ払い運転	五七三
児童はねられて重傷	五七三
九千ドルで妥結、飲料水汚染補償	五七三
普天間の初出場決まる、選抜高校野球	五七三
7月1日合併を再確認	五七三
宜野湾の赤痢36人に	五七三
「1号線通り会」結成	五七三
「闘牛とばく」締め出す	五七三
上水道で全面給水	五七三
全軍労スト目前に緊迫	五七三
今夕総決起大会	五七三
十一月合併実現へ宜野湾ブロック	五七三
反合闘争の勝利を確認	五七三
合併の意気込みない	五七三
中南部で外人事件続発	五七三

玲子おとうさんだよ	五三三
普天間海兵航空隊	五三三
激しくなる飛行訓練	五三三
米兵がピストル強盗	五三三
最低価格の引き上げを	五三三
こちらも「質上げ」	五三三
宜野湾市近く市当局へ申し入れ	五三三
普及率は71%	五三三
「毒ガス撤去」を決議	五三三
集団で教師に乱暴	五三三
爆音の即時中止を	五三三
P.T.Aが校内巡視	五三三
窓ガラス割られる	五三三
軍用地跡に新庁舎	五三三
議員の顔にツバ	五三三
基地機能さらに拡大	五三三
右翼政治団体が乱入	五三三
現金輸送車襲撃計画の一味逮捕	五三三
米軍機の部品が落下	五三三
外人強盗が続発	五三三
下水道公社伊佐浜処理場が完成	五三三
軍事物資がいつぱい	五三三
宜野湾市議選	五三三
公聴事務を一本化	五三三
中国から近く32人引き揚げ	五三三
三市村共同のごみ焼却炉	五三三
問題化するし尿処理	五三三
宜野湾、北谷の両市村	五三三
復帰に備えて農業改良	五三三
低調な運営に批判	五三三
宜野湾市教育振興会	五三三
基地内での女子暴行未遂	五三三
無罪判決に怒り	五三三
「浮動票」で激戦	五三三
市町村議員に選ばれた人たち	五三三
前途多難な崎間市政	五三三
「臭いにおい」に抗議	五三三
正副議長に古波蔵、宮里氏	五三三
市町村議選を顧みる	五三三
市で「養護」を計画	五三三
中部のし尿処理問題	五三三
政府、旧投票口の使用方法決定	五三三
赤い羽根に五〇〇ドル	五三三
七月合併は困難か	五三三
電線病撲滅へ宜野湾市	五三三
委員長に知念氏選ぶ	五三三
機能失う商工会議所	五三三
自己負担で標識設置	五三三

外人ひったくり三件	五九	「屈辱の歴史閉じよ」	六〇九	少女暴行の三米兵逮捕	六四四
建築ブームに沸く	五九	初代局長に伊佐氏	六一	全琉の農協貯蓄一億ドルを突破	六四五
静岡県大井町の議員団が来沖	五九	証拠揃え送致	六一	大半は卸し小売り業	六五五
全軍労スト正念場の第二ラウンド	五九	ホステス殺害事件捜査本部解散	六一	外人が短銃強盗	六六六
七月一日に合併	五九	M P取締りに抗議	六一	宜野湾市が人口実態調査	六六六
宜野湾市が庁舎移転準備	五九	容疑者二人を逮捕	六一	養豚農家育成に全力	六六六
合併日程 打ち合せ	五九	20日から運動展開中頭地区教職員会	六三	各市町村が道路計画	六六七
順調な「うなぎ養殖」	五九	返還協定に抗議の渦	六四	開き過ぎる格差	六七八
あぶない「トロッコ遊び」	五九	三市村、足並みそろわず困難	六五	横暴、いやがらせ	六七八
宜野湾・中城・北中城の合併問題協議	五九	米軍がロッキアアウト	六五	1ドル＝342円でスタート、	六七八
浦添・宜野湾の工事急ぐ	五九	首切りに抗議	六六	変動相場制初日の為替市場	六八九
文化財の石厨子破壊	五九	進まぬ中都市町村合併	六六	購売事業が横ばい	六八九
宜野湾市、埋め立て事業再開へ	五九	宅地造成急テンポ宜野湾市真栄原一帯	六七	住民無視に批判高まる	六九〇
ローカルスポーツ	五九	沖繩基地、大部分は残る	六七	市長、助役は減俸処分	六九〇
米須、殊勲のサヨナラ安打	六〇	日・米政府、返還協定に調印	六八	麻薬密売で二人を逮捕	六九〇
養蠶事業で紛糾	六〇	固定資産税の滞納が六万ドル	六八	新設大学誘致など	六九〇
奄美出身者相互連帯を強化	六〇	日曜も納税できます	六八	軍用地料総額約八百万ドル	六九〇
埋め立て計画残土もろえず撤回	六〇	合併後に機構改革	六〇	72時間ストに突入	六九〇
ヘロイン多量押収	六〇	外人乗客がビンでなぐる	六〇	頭痛めるゴミ処理	六九〇
組合員を脅迫、暴行	六〇	中部圏・変容の二十六年	六〇	沖繩の基地返還協定を点検する	六九〇
土地闘争の先がけ	六〇	軍用地開放要求動議流れる	六〇	立法化は絶対阻止する	六九〇
押しつけられた苦難の道	六〇	北中城、「編入」に統一	六〇	きょう賛否を決議	六九〇
ホステス殺される	六〇	「野党に消された」	六〇	宜野湾ブロックの合併問題	六九〇
米兵容疑者を逮捕、普天間署・CID	六〇	大謝名軍道、34号線側溝建設費	六〇	宜野湾、中城、北中城の	六九〇

合併土壇場で破算	六三	公有水面を埋め立て	六三三	協定批准書を交換	六九
ウナギを初出荷	六三	衆院本会議公用地法案が成立	六三三	全軍労スト、延長決定”にどつと歓声	六七〇
崩れた三市村合併	六三	地料の復活折衝へ	六三九	五千人が粉砕叫ぶ3・15総決起大会	六七〇
憎い酔っぱらい米兵	六三	日米共同発表の内容	六三九	Aサイン制廃止	六七〇
宜野湾の婦人ひき殺し事故	六四	沖繩返還”は5月15日	六四〇	宜野湾市真栄原、基地の汚水で浸水	六七三
今月四人がれき殺	六四	大規模な埋め立て事業推進	六六一	合同特捜班、麻薬所持の米兵逮捕	六七三
宜野湾ホステス殺し	六四	普天間中生と外人少年らが対立	六六一	普天間基地、暴動で八人死ぬ?	六七三
容疑者米兵に無罪判決	六四	自民の候補者調整が難航	六六一	基地周辺整備資金公民館建設に利用	六七三
「無罪」に民警ガックリ	六四	「公営住宅」に力こぶ	六六一	頭の痛い復帰予算	六七四
宜野湾のホステス殺し	六四	未開発のどうくつを調査	六六一	少女、死体のみつかる	六七五
少女暴行犯には懲役20年	六四	四月一日メドに機構改革	六六三	P3機移駐は危険	六七五
会場使用を拒否	六四	安全サクの設置を要請	六六三	基地周辺整備資金はお断わり、	六七五
米軍糾弾、渦巻く怒り	六四	公有水面の埋め立て事業で契約結ぶ	六六四	崎間・宜野湾市長	六七六
11・8県民総決起大会	六四	うなぎの出荷はじまる	六六四	中部の各市町村春闘ここ数日がヤマ	六七六
ゼネスト・10万人が決起	六四	部隊から盗む	六六五	517万ドルを減額72年度普通交付税	六七六
乗客の婦人ケガ	六四	シンナー遊びの実態わかる	六六五	中国しらす”を輸入	六七七
宜野湾市長ハワイにたつ	六四	間接雇用 スタート	六六六	宜野湾市養蠶研究所	六七八
基地公害を調査	六四	宜野湾に敷地決定	六六六	円誇らしげに沖繩入り	六七九
米兵とヒケ隊が衝突	六四	大幅機構改革を検討	六六七	通貨交換の要領	六八〇
米兵ら三人焼死	六四	公設市場改築見送り	六六七	宜野湾市の47年度予算昨年約二倍	六八一
放火容疑で逮捕	六五	読者のページ・宜野湾市	六六八	期限切れは”延長”、防衛庁	六八一
「通貨政策」を糾弾	六五	沖繩返還の手続き完了	六六八	パトカーの先導で	六八二
「返還協定」を承認	六五			米民政府が解散式	六八三
深夜の参院本会議で可決	六五			1ドル＝305円で交換	六八三

外人関係迷宮入り殺人14件……………六六五  
 『三〇五円』にショック……………六六六  
 琉球政府20年の歴史に終止符……………六六七  
 新生沖繩、自治へ第一歩……………六六八  
 雨の中、怒りのデモ……………六六八  
 ドキュメント復帰初日午後……………六六九  
 円・ドル併用で混乱……………六九二  
 物価、裸の消費者に猛攻勢……………六九三  
 市町村に62億円……………六九四  
 自治への挑戦 △1▽……………六九四  
 東京並みの物価、  
 鹿児島、東京との比較……………六九六  
 復帰に伴う大幅人事異動を発令……………六九七  
 交換額は一億三百三十万ドル……………六九八  
 1件処理するのに1時間も……………六九八  
 外国人登録手続き……………六九九  
 「通貨」の差損補償支払い始まる……………七〇〇  
 自衛隊沖繩入り復帰後、初めての33人……………七〇〇  
 復帰予算にみる地方自治体の悩み……………七〇一  
 肉類は便乗値上げ、県農林水産部調査……………七〇二  
 円と物価効果ない対策……………七〇四  
 軍用地契約、予定通り完了……………七〇五  
 パン値下げ相次ぐ……………七〇六  
 めだつ県産品の値上げ……………七〇六

77品目361円以上で換算……………七〇六  
 家賃、借地料も値上げ中部一帯……………七〇八  
 ミルク購入券を12日から配布……………七〇九  
 認められぬ義務教育、  
 未認可外人スクール……………七〇九  
 『P3移駐の布石だ』……………七一〇  
 米軍、警備員の就労を拒否……………七一一  
 安保復帰に厳しい審判、  
 自治県政を方向づける……………七一二  
 県議当選者……………七一二  
 知事選挙開票結果・県議選挙開票結果……………七二五  
 全軍労復帰後初の全面スト突入……………七二六  
 健康都市めざし、  
 宜野湾・あす市制十周年……………七二八  
 戦う姿勢を強化……………七二九  
 宜野湾市農協、創立25周年で飛躍……………七三〇  
 普天間飛行場ひどい爆音……………七三二  
 『平和のかけ橋に』和歌山に  
 平和長寿観音像を建立……………七三二  
 県軍用地等補償請求事務所を開設……………七三三  
 宜野湾市に国立病院……………七三三  
 『独特の綱』注目的に……………七三四  
 宜野湾で白黒対立……………七三四  
 ホステス殺される、宜野湾市大謝名……………七三五

合理的な運営で再出発……………七三六  
 少年米兵を逮捕、〇〇さん殺害事件……………七三六  
 宜野湾市の軍用地  
 賃貸料支払い業務始まる……………七三七  
 地域住民の意志を反映  
 開発協議会を結成……………七三八  
 また普天間で爆発事件……………七三八  
 来年から会員制を採用……………七三九  
 庁舎の増築急ぐ……………七三九  
 好評です「高齢者学級」……………七四〇  
 団体、海洋博の成功を  
 『棒卷』35年ぶりに再現……………七四一  
 ペプシ争議泥沼化……………七四一  
 地主の熱意実る……………七四三  
 P3機撤去を当面断念……………七四三  
 両替装いわし掴み……………七四三  
 米兵のかみなり族……………七四四  
 区民の精神的支えに、拝所……………七四四  
 沖繩に13億1千万円……………七四五  
 自衛隊配備に抗議……………七四五  
 「P3機」移駐の前ぶれか……………七五五  
 市営住宅伊是名組が落札……………七五七  
 影ひそめる「農業」……………七五七  
 韓国選手団の歓迎レセプション……………七五七

混乱、尾を引く私大統合……………七三八  
 米軍機から燃料タンク落下……………七三八  
 政局の焦点、師走人事に……………七三九  
 学校(普天間高校)が公民館前に壁……………七四〇  
 米軍の招待を断わる……………七四二  
 市長、助役の車での送り迎えを廃止……………七四二  
 米軍入軍属、多過ぎる交通事故……………七四三  
 復帰後、ふえる一方……………七四三